

姫路城

来年3月27日グランドオープン

大天守の内部、再公開

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の舞台となる兵庫県姫路市。世界文化遺産で国宝の「姫路城」は大天守保存修理事業も順調に進み、来年3月27日には大天守の内部が再び公開される。グランドオープンを1年後に控え、商品造成のヒントとなる姫路観光のいまを伝える。



姫路城がさらに美しくなってグランドオープンする

姫路城は慶長年間

に建てられ、日本に現存する城の中でも世界的に高い評価を受けている城だ。1951年に国宝指定、93年には日本で初めて、ユネスコの世界文化遺産に登録された。その優雅な姿は飛び立つ白鷺に例えられ、「白鷺城」ともいわれる。

その姫路城も昭和の大修理から50年近くが経過。痛みや汚れが激しくなったため、09年から大天守保存修理事業に着手。大天守の修復を間近

で見ることができ「天空の白鷺が話題となり、多くの観光客が訪れた。1月16日から素屋根

(作業用足場)

官兵衛・秀吉の遺構も

と構台の解体工事に入り、6月中旬には大天守の最上層が姿を見せ始める予定だ。そして来年3月27日、装い新たになった美しい姫路城が目に見える。

姫路城には現在も官兵衛・秀吉時代の遺構がある。「上山里下段石垣」は秀吉が姫路城築城の際、官兵衛が普請に関わったとされている。また、

「にの門」櫓に十字紋の鬼瓦があり、キリシタンなど姫路城周辺には見どころがいっぱい。ループバスやレンタサイクルなどを利用すれば、効率的に回れる。

官兵衛関連の大河ドラマ館や歴史館はもう

官兵衛の歴史館

本山一城氏所蔵品
見ごたえも十分

姫路城内の「リの一渡櫓」にあるのが「官兵衛の歴史館」(来年1月10日まで開館)だ。

菊一文字の太刀拵や甲

リの一渡櫓は国指定の重要文化財で通常は非公

開の施設。この機会に見るのもお勧めだ。



開館時間は午前9時～午後4時半。問い合わせは☎079(287)3681。

姫路城グランドオープンまで

(写真上から)2014年1月16日「天空の白鷺」閉館後、内部の仕上げ材を解体・搬出

▽6月中旬「大天守の最上層が姿を見せる」▽9月頃「素屋根の基礎を解体、天守台の石垣より上部がほぼ解体」▽15年3月27日に大天守内部を再び公開

ひめじの黒田官兵衛 大河ドラマ館



戦国ムード演出
官兵衛が身近に

姫路城南の家老屋敷跡公園内にあるのが「ひめじの黒田官兵衛大河ドラマ館」(来年1月10日ま

で開館)だ。戦国ムードたっぷりの演出とドラマの資料展示などで官兵衛が生きた時代を紹介している。

「人間・黒田官兵衛」など四つのゾーンで構成。官兵衛の居室や官兵衛時代の姫路城のジオラマなど見どころも多く、官兵衛が荒木村重に幽閉された有岡城の土牢を再現し、体験もできる。

開館時間は午前9時～午後5時。問い合わせは☎079(284)2455。

ゆかりの地 多く

案内マップ片手に散策を

姫路を抜きにして官兵衛、そして黒田家を語ることも多く、官兵衛の息吹を感じることができる。

官兵衛観光に役立つのがまち案内マップ「よっち案内マップ」ゆかりの地めぐり



書写山園教寺(上)とまち案内マップ「よっち案内マップ」ゆかりの地めぐり。官兵衛ゆかりの市内6地域のモデルコースを新たに作り、歴史散策を提案している。活用をお勧めする。

廣峯神社は、同神社の御師が全国から集めた情報を官兵衛に伝えたといわれ、書写山園教寺は官兵衛が秀吉や竹中半兵衛と播磨平定の軍議を凝らした場所だ。